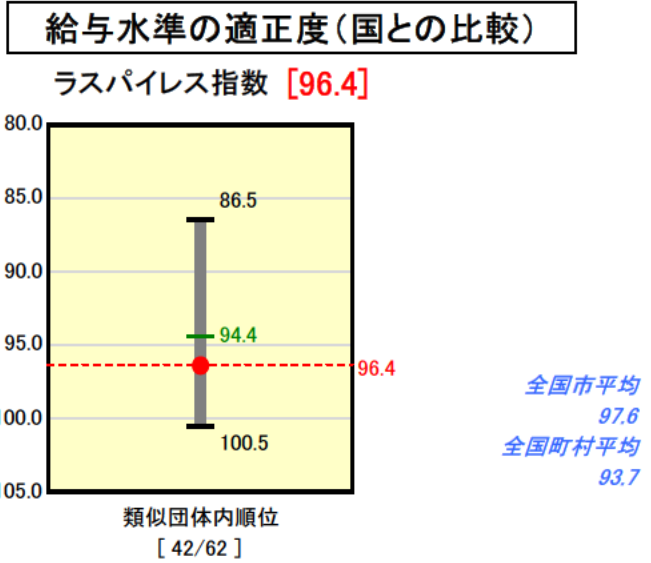
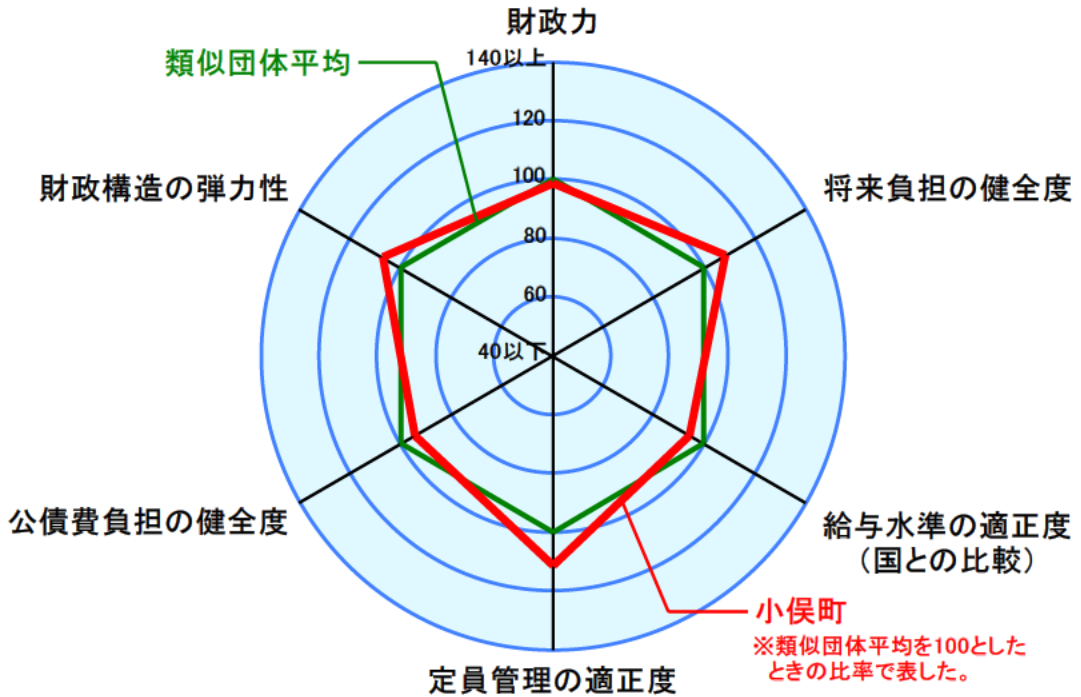
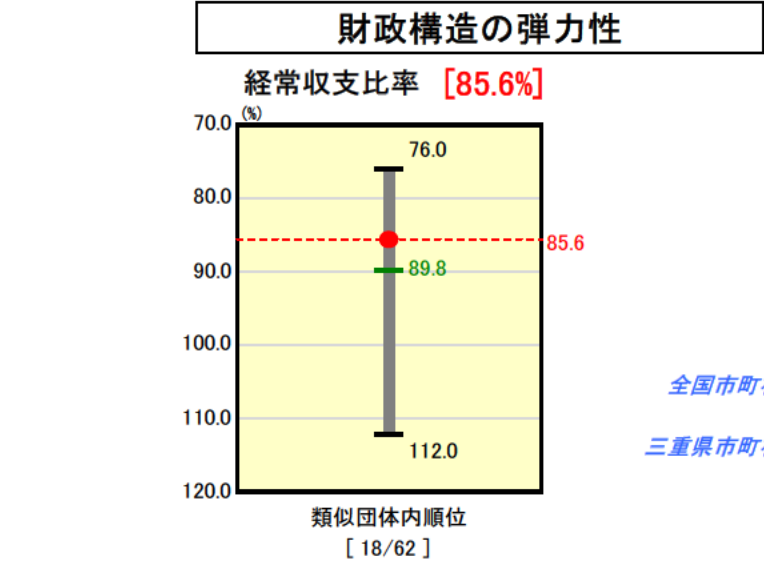
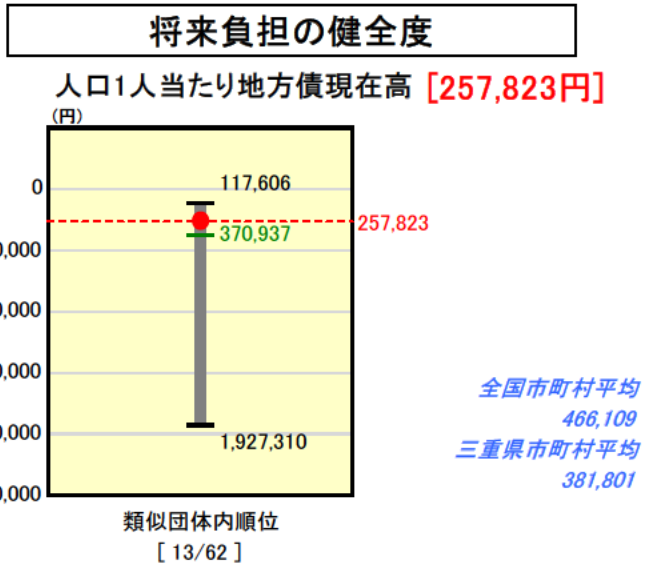
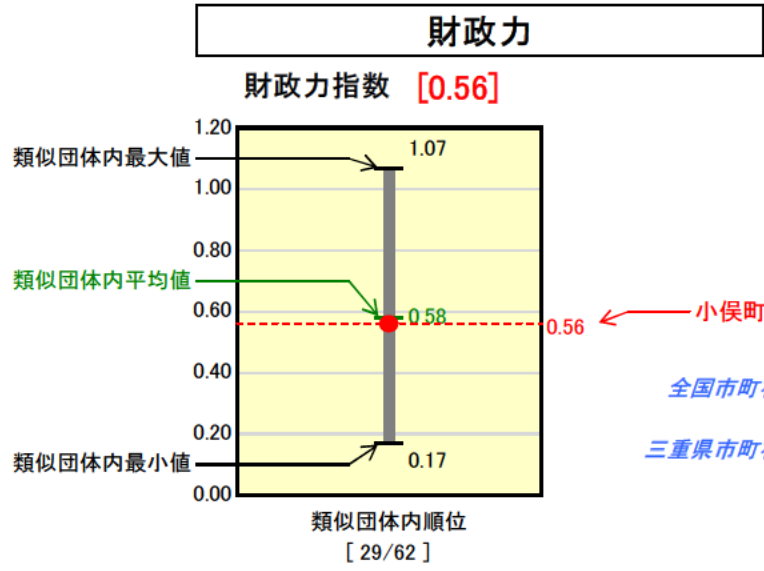


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 三重県 小俣町

人口	18,862人(H17.3.31現在)
面積	11.56 km <sup>2</sup>
歳入総額	6,061,347千円
歳出総額	5,801,942千円
実質収支	175,405千円



### 分析欄

【財政力指数】ここ3年間で連続した伸びをみせており、0.56となっているが、類似団体平均を0.2下回っている。町内は近隣市のベッドタウンであり、中心となる産業がなく、今後の税収の伸びも見込めないことから、投資的経費の縮減など歳出の徹底的な見直しを実施、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】類似団体の平均を下回っているが、公債費が平成16年度にピークを迎えたことや扶助費の増加により比率は年々悪化している。(前年度比7.7ポイント上昇)。人件費は年々減少しており、今後も人件費の縮減、経常的な補助金の見直しに努め、現在の水準を下回ることを目標とする。

【起債制限比率】平成15・16年度は起債償還のピークであることから、ここ3年間で連続した伸び(前年度比1.3ポイント上昇)となっている。公債費は平成16年度をピークに減少に転ずると見込まれるが、起債残高の上限額(50億円)を設定し、水準を抑えることとしたい。

【人口1人当たり地方債残高】類似団体の平均を下回っている。起債残高の上限(50億円)を設定するとともに、建設事業の見直しを進め、新規地方債の発行を抑制し財政の健全化を図る。

【ラスパイレス指数】昇格にあたっては昇格試験を取り入れるなど、年功序列的な制度を改める措置を進めてきたが、類似団体平均を2.0上回っている。今後は、財政状況を見据え、給与カットなどの措置も視野に入れ、給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】人口密度(1,631人/km<sup>2</sup>)が高く、効率的な人員配置が可能なことから、類似団体と比較し少数で行政運営を行える。また、施設管理(体育館・スポーツ公園)を民間に委託するなど、定数削減を積極的に進めてきた。今後も住民サービスを低下させることなくアウトソーシングを活用し更なる削減を進める。

